



神崎町立米沢小学校 学校だより 2026.1.7

大平台だより

No.32

Oohiradai Newspaper 「ほんき・やるき・げんき」全校児童数49名 校長 飯島 純子



職員室前花壇のスイセン



あけましておめでとうございます！

新年あけましておめでとうございます。学校に元気な子どもたちが帰ってきました。やっぱり、子どもたちの声が響く学校はいいです。冬休みの間の淋しさを一気に吹き飛ばしてくれました。

1月2日は、夜から雪になりました。めずらしく、銚子にも雪が降ったそうです。雪深く日照時間の少ない雪国の方には申し訳ないのですが、夏の猛暑のこともあり、もう雪など降らなくなってしまったのではないかと思っていましたので少しつととしたような気持ちになりました。日本の四季がこのまますっと続きますようにと願うばかりです。

さて、2026年の神崎町「発酵の里カレンダー」は、ご覧になりましたか？1月は、米沢小学校での藍染めの写真です。一昨年、初めて神崎発酵マラソンの参加賞のTシャツを3年生以上の子どもたちが染めたときの記念の一枚です。2月は、青空



畑でのやきいもの風景です。地域の方に苗を分けていただき、学校で育て、収穫したベニハルカを3か月間ねかせ、この日にやきいもにしました。青空の下、保育所の友達と一緒に食べるやきいもは格別です。今年も、2月18日に予定しています。3月



は、雪の日の一場面です。昨年3月に冬に入って初めての雪が降り、学校のグラウンドにも積もりました。4年生の社会科に「昔の道具を調べることを通して、当時の人々の暮らしを考える学習」があるので、4年生が、火打ち石で、火を起こし、七輪で餅を焼きました。元気な1年生が、雪遊びをしたあと、その残り火で手を暖めている写真です。なんとも微笑ましいショットです。その他にも米沢地区の美しい風景



が多く掲載されていて、これからめくるのが楽しみです。

3学期の授業日数は、1～5年生が52日。6年生は、48日しかありません。「一月往ぬる二月逃げる三月去る（いちがついぬる にがつにげる さんがつさる）」と言います。子どもたちの「わかった！」「なるほど！」「楽しい！」の笑顔がたくさん見られ、一人一人の希望の登校、満足の下校が実現するよう一日一日を大切にして、がんばります。よろしくお願ひいたします。

ジャンボスロープの階段修理 12/23

冬休みの間に、ジャンボスロープの階段の修理が行われました。この遊具は、創立140周年記念に地域の皆様にご寄付いただき、作ったものです。滑走面も、痛んだところは、人工芝を部分的に貼り直しながら使用しています。米沢小は、今年、9月に創立150周年を迎えます。10年経っても安全に楽しめるように、これからも少しずつ修理しながら大切に使っていきます。



米沢小学校
ホームページ
はこちらから

※学校の花壇にスイセンの花が咲き始めました。雪が降ろうとも、力強く咲くスイセンに子どもたちを重ね合わせます。